

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【公開番号】特開2003-133848(P2003-133848A)

【公開日】平成15年5月9日(2003.5.9)

【出願番号】特願2002-256730(P2002-256730)

【国際特許分類第7版】

H 01 Q 13/10

H 01 Q 13/02

H 01 Q 23/00

【F I】

H 01 Q 13/10

H 01 Q 13/02

H 01 Q 23/00

【手続補正書】

【提出日】平成17年8月26日(2005.8.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】スロットアンテナ型の長手方向の放射で波を送受信する1個以上であるn個の手段の組立体と、

少なくとも一つのアンテナのスロットに電磁気的に接続された励振手段と、

該励振手段とスロットアンテナの少なくとも一つのスロットとの間の電磁カップリングを制御することにより動作するスイッチング装置と、

を有する装置であって、

スイッチング装置は、

スロットアンテナの一つのスロットを画成する二つの金属表面間に可逆電気接点を形成する少なくとも一つの手段と、

上記可逆電気接点の状態を制御する手段と、

を具備することを特徴とする装置。

【請求項2】スロットアンテナは、基板に印刷された少なくとも一つのスロットを含み、

スロットの一端は基板の縁に向かって徐々に広がり、

閉じていないスロットの他端は基板の別の縁の方へ延びる、
ことを特徴とする請求項1記載の装置。

【請求項3】印刷されたスロットアンテナのスロットとマイクロストリップラインは、

λ_0 が真空中の波長を表わし、

$1/\text{reff}$ がスロットの実効比誘電率を表わし、

k' が奇数を表わし、

$s = \lambda_0 / (1/\text{reff})$ であるとき、

スロットの広がっていない方の他端から $k' s / 4$ の距離だけ離れたシステムの中心動作周波数で交差することを特徴とする請求項2記載の装置。

【請求項4】スロットアンテナの一つのスロットを画成する二つの金属表面間に可逆電気接点を形成する手段は、

0が真空中の波長を表わし、
1reffがスロットの実効比誘電率を表わし、
k'が奇数を表わし、
 $s = 0 / (1 \text{reff})$ であるとき、

マイクロチップラインから距離 $k' s / 4$ だけ離れている場所でスロットを横切るように設けられていることを特徴とする請求項1記載の装置。